

【 平成 28 年度 河川巡視結果 】

1 巡視日時、消防署管内・河川等

巡視日時	消防署管内・河川等
4月12日(火) 9時30分～11時30分	【青葉消防署管内】 広瀬川 川内川前丁付近、霊屋下から花壇付近
4月12日(火) 13時30分～15時00分	【宮城野消防署管内】 七北田川(左岸、右岸、河口) 蒲生字町、西原地内、白鳥一丁目地内
4月13日(水) 9時00分～11時30分	【若林消防署管内】 貞山運河、井土浦川、二郷堀 大堀・二郷堀・藤塚・井土浦川排水機場、井土浦樋門
4月13日(水) 13時30分～15時00分	【太白消防署管内】 谷地堀 郡山字原田、郡山字谷地田東
4月14日(木) 13時30分～15時30分	【泉消防署管内】 七北田川、山田川 馬橋周辺、無串橋周辺、古屋敷橋周辺、仙台川合流点
4月14日(木) 9時00分～11時00分	【宮城消防署管内】 広瀬川、斉勝川 芋沢字新田地内、芋沢字大竹新田下地内、本木橋下流

2 参加機関

国	東北地方整備局仙台河川国道事務所名取川出張所
宮城県	宮城県仙台土木事務所
仙台市	危機管理室防災計画課 経済局農林部農林土木課 都市整備局住環境部開発調整課 建設局百年の杜推進部河川課 建設局下水道事業部下水道調整課 建設局下水道事業部下水道北管理センター 建設局下水道事業部下水道南管理センター 青葉区役所区民部区民生活課 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課 宮城野区役所区民部区民生活課 若林区役所区民部区民生活課 太白区役所区民部区民生活課 泉区役所区民部区民生活課
消防団、消防署	各消防団、各消防署、消防局

3 参加人員（延べ人員）

消防署管内 (河川等)	国・県・市 関係者	消防団員	消防職員	計
青葉消防署管内 (広瀬川)	9名	3名	19名	31名
宮城野消防署管内 (七北田川)	12名	7名	12名	31名
若林消防署管内 (貞山運河等)	16名	11名	11名	38名
太白消防署管内 (谷地堀)	18名	2名	14名	34名
泉消防署管内 (七北田川等)	17名	13名	22名	52名
宮城消防署管内 (広瀬川等)	10名	10名	7名	27名
合計	82名	46名	85名	213名

4 巡視概要

(1) 青葉消防署管内（広瀬川）

青葉区川内川前丁付近の左岸は、平成27年9月豪雨による壁面の崩落を確認した。当該箇所は、直ちに崩壊が進む兆しはなく、緊急を要する危険性は認めない。

河川敷に流木等を散見する。河川敷の適切な維持のため、流木等は、今年度中の除去を予定する。

赤門自動車学校敷地南側の右岸には、河川敷を占有している平屋建てがある。平成27年9月豪雨により、広瀬川の水位は上昇し、平屋建ての1階天井付近まで浸水した。平屋建ては、所有者等の居住に使用していない。

宮城県仙台土木事務所から、平成28年度に予定する護岸等の改修と、河道掘削、河川敷の除草等について概要説明を受ける。

(2) 宮城野消防署管内（七北田川）

七北田川の堤防破損箇所について、宮城県仙台土木事務所から概要説明を受ける。高砂橋上流の堤防は、平成27年9月までに地盤沈下分の堤防嵩上げ工事を完了した。高砂橋下流の堤防（右岸約400m）は、工事の進捗が約50%程度であり、平成30年度の完了を予定する。河口は、堆積土砂の除去作業が完了し、現在築堤工事を行っている。貞山堀と七北田川の接続部分は、仮設のフラップゲートを設置している。

和田排水樋門は開閉可能であり、七北田川の水位が高い場合、建設局下水道南管理センター職員または契約業者により現地を確認の上、樋門を閉鎖する。和田排水樋門から内水を排水できない場合、約 100m 西側に設置している仮設排水ポンプ 4 台を起動し、内水を七北田川へ排水する。

白鳥一丁目には、仮設排水ポンプを 5 台（1 台あたり毎分 4 t の排水能力）設置している。都市排水路に水位計を設置し、水位変化を建設局下水道南管理センターにおいて遠隔監視している。水位が上昇した場合、建設局下水道南管理センターまたは契約業者により仮設排水ポンプを起動する。仮設排水ポンプを冠水前に稼働することにより、被害を防いでいる。

七北田川右岸の南蒲生浄化センターは、東日本大震災の被災から復旧を進めてきた。全施設が完成したことから、平成 28 年 4 月から本格稼働している。

(3) 若林消防署管内（貞山運河等）

大堀排水機場、二郷堀排水機場、藤塚排水機場を確認し、所管する経済局農林土木課から概要説明を受ける。東日本大震災の津波により、排水機場は大きな被害を受けた。排水機場の減災対策を必要としたことから、復旧整備にあたり、各種の減災対策に配慮した。排水機場の建屋・排水ポンプ等の施設は、平成 27 年 8 月までに工事を完了している。以後、場内整備を進め、平成 28 年 3 月までに整備を完了した。

新設する井土浦川排水機場は、平成 28 年度中の完成を目指している。震災による地盤沈下の影響を考慮し、井土浦川排水機場の排水能力を当初計画から増加した。二郷堀地区全体の内水対策事業として、二郷堀排水機場、井土浦川排水機場を整備している。

名取川左岸は、平成 25 年度中に改修を完了している。河口から 1.4 k m にわたり 3 面張りコンクリート補強を行った。河口から 1.4 k m 区間の天端高は、河口から関上大橋までが 7.2 m、関上大橋から上流は 6.0 m の設計としている。

仙台東地区の基幹排水機場を復旧整備したことから、今後の大雨等に対する排水に効果を発揮すると考える。

(4) 太白消防署管内（谷地堀）

谷地堀は、下流端において旧策川と合流した後、名取川へ合流する。名取川が増水した場合の旧策川への逆流を防ぐため、旧策川と名取川の合流地点に水門を設置している。併せて、谷地堀及び旧策川の排水対策として、名取川との合流地点（水門）付近に遊水地を設けている。

平成 27 年 9 月豪雨により、旧策川の水位が上昇し、周囲の地域に床上・床下浸水、道路冠水が発生した。今後、旧策川の状況を判断するため、「北目橋」付近へ水位計等の設置を予定する。（設置は、宮城県仙台土木事務所による。）

谷地堀の改修工事に着手していたものの、東日本大震災の発生により中断していた。今年度は谷地堀右岸の護岸工を予定し、平成 30 年度に橋梁上部工を予定するなど、順次改修を進めていく。現在の谷地堀は、護岸の崩れや洗掘等の異常を認めない。

(5) 泉消防署管内（七北田川等）

山田川は、新館下橋上流の約 30m の範囲へ護岸工事（カゴマット工法）を行い、平成 25 年度中に完了した。平成 27 年 9 月豪雨では、大きな被害を認めない。ただし、法面崩れ等が発生していることから、カゴマット工法等による改修を予定する。

七北田川に架かる「馬橋」は、平成 27 年 9 月豪雨により被災した。現在復旧作業中のため、車両通行止めとしている。馬橋から赤生津大橋まで約 13 km 区間の護岸は、20 箇所程度の被災を認める。今年度事業として、順次改修を予定する。

七北田川が大きく弧を描く区間に架かる「無串橋」周辺は、平成 27 年 9 月豪雨の痕跡が残る。（河川周辺の草木がなぎ倒された状態。）

「古屋敷橋」では、平成 27 年 9 月豪雨における水位が、橋脚の上部まで至った。古屋敷橋から上流約 100m 左岸において、護岸工事（ブロック張り）を予定する。周囲では、古屋敷橋の老朽化に伴い、下流側に橋の架け替え工事を行っている。架け替え工事中、既存の橋は通行可能である。

仙台川は、七北田川に合流する。仙台川の護岸に、東日本大震災の揺れによる部分的亀裂が発生した。併せて、平成 27 年 9 月豪雨により被災した。現在まで護岸の改修は進んでいないものの、施工方法を検討するなどして、平成 28 年度中に発注する予定である。

(6) 宮城消防署管内（広瀬川等）

芋沢字新田地内の右岸は、20m を超える傾斜地であり、越水の可能性は乏しい。平成 27 年 9 月豪雨により、傾斜面の一部崩落、洗掘等が発生した。今年度、復旧工事を予定する。左岸（西仙台病院側）の護岸にも崩落、洗掘等が発生しており、崩落部分を改修するまで、水位上昇時の越水等に留意していく。

芋沢字大竹新田下地内は、過去に越水した箇所があることから、豪雨等による水位上昇の場合、越水等に留意していく。

広瀬川に合流する斉勝川は、平成 27 年度に堆積土砂を除去している。今年度も堆積土砂の除去を予定する。本木橋の下流は、右岸・左岸に高低差がある。斉勝川の水位が上昇した場合、左岸（愛子東一丁目・落合六丁目）側に越水する可能性がある。平成 27 年 9 月豪雨により、斉勝川も被災したことから、護岸改修工事を予定する。

5 巡視総括

各消防署管内における河川巡視により、現在の河川等の状況と併せ、河川の水位上昇等の場合に留意すべき箇所・区域等を確認した。

大雨、豪雨等の水害に係る災害対応のため、巡視による河川等の実態把握に努めるとともに、各機関と緊密な連携を図っていく。